

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376500324
事業所名	グループホームあおいの里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域密着型事業所の特性を活かし、社会資源を活用した付き合いが日常的になっている。近隣の商店での買い物や、馴染みの飲食店での外食・喫茶外出に出掛けたり、公園へ散歩へ行ったりと、地域の一員としての交流がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議を年6回開催し、ホーム運営状況等の報告を始め、参加者との活発な意見交換の場として活用がある。利用者・家族、地域包括支援センター、地区民生児童委員等、毎回多数の参加が得られ、ホーム運営を話し合っている。常に新しい情報を共有し、得られた提案や助言をホーム運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	豊川市高齢者地域見守りネットワーク(SOSネットワーク)事業を通じ、市町村担当者と日頃から密に連絡を取り、適切な協力関係を築いている。法人代表は認知症サポーター研修講師、県の認知症研修の講師等を委嘱され、認知症高齢者介護の専門家として行政と協働している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議や年2回の家族会等、意見を表出できる機会を設けている。特に家族会は、ホーム内で食事会形式で開催することから、法人代表・管理者はじめ、職員も同じテーブルにつき、やわらかい雰囲気の中での意見交換となり、家族からの評判も上々である。家族同士の交流の場としても活用され、介護に関する苦労話や、ホームに入ってから親との関係づくりの話等、本音を語る会になっている。聴き取った意見・提案については迅速な対応がある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。